

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

793

森林公園管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	農林緑花総務費		
	大事業	農林緑花管理事業		
中事業	森林公園管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 中兀 成浩 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	森林公園利用者の安全確保及び施設利用の推進		市民に森林とふれあえる憩いの場を提供し、森林公園利用者の安全確保及び施設利用を推進する			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		施設の修繕、遠路の整備、害虫の駆除、草刈り等を実施し適正な公園の維持を図る	施設の修繕、遠路の整備、害虫の駆除、草刈り等を実施し適正な公園の維持を図る	施設の修繕、遠路の整備、害虫の駆除、草刈り等を実施し適正な公園の維持を図る	施設の修繕、遠路の整備、害虫の駆除、草刈り等を実施し適正な公園の維持を図る	施設の修繕、遠路の整備、害虫の駆除、草刈り等を実施し適正な公園の維持を図る

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,242	4,907	5,523	5,487	5,357	5,148	5,460	0	5,460	0
伸び率(%)	△7.2%	△6%	5.4%	11.8%	△3%	△6.2%	1.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,994	5,155	4,857	4,539	3,957	4,344	3,957	0	3,957
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	514	0	52
	小計	4,994	5,155	4,857	4,539	3,957	4,344	4,471	0	4,009
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	79	79	79	79	79	79	79	0	0	0
一般財源(税等)	5,163	4,828	5,444	5,408	5,278	5,069	5,381	0	5,460	0
所要人数(人)	正規職員	0.62	0.64	0.61	0.57	0.51	0.56	0.51	0.00	0.51
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.01
主な予算内訳	管理委託料3,439千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
森林再生イベント参加者数		人	目標値	20	0	0		
			実績値	20	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
森林再生樹木植栽本数		本	目標値	50	0	0		
			実績値	50	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	森林公園利用者からの要望も多く、継続して取り組んでいく必要がある。
見直し・改善内容	開園から40年近く経過し、施設の老朽化や森林整備の不行き届きの部分もあり、今後は平成31年度から導入される森林譲与税等も活用し、大規模修繕等の取り組みも必要である。